

平成 31 年 4 月 26 日

溶融塩委員会 委員各位

溶融塩委員会第 200 回委員会記念刊行

「溶融塩および高温化学」第 62 巻第 3 号 第 200 回委員会記念号への御寄稿のお願い

公益社団法人 電気化学会

溶融塩委員会

委員長 水畑 穰

「溶融塩および高温化学」編集委員長 野平俊之

平素より溶融塩委員会の運営にご指導・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本委員会は、第 1 回委員会が昭和 33 年 2 月 18 日に当時の大阪大学工学部（大阪市都島区東野田・現在、大阪市立東高等学校の敷地）で開催されました。その後、62 年間にわたり溶融塩を中心とする様々な分野の研究者、技術者が一同に介し、様々な議論を行い、新しい溶融塩技術の潮流を生み出し続けております。委員会の歴史を紐解きますと、昭和 60 年 10 月 11 日に京都平安会館で第 100 回記念委員会が開催され、講演「これからの溶融塩－その化学と技術の将来展望－」とともに公開討論会が行われました。その参加者は 53 名に及び、当時の中堅の研究者による意見交換が活発に行われたとの記録が残っております。

詳細は第 100 回記念委員会に際して発行された記念誌を

<http://msc.electrochem.jp/committee.files/100/mscj100.pdf>

また、第 100 回記念委員会記を

<http://msc.electrochem.jp/committee.files/100/mscj100report.pdf>

にそれぞれアップロードしておりますので、合わせてご参照下さい。

この第 100 回記念委員会が開催されてから更に 34 年が経過し、改元により令和になって初めての定例委員会が第 200 回の記念委員会として大阪大学吹田キャンパスで開催されることとなりました（プログラムは現在企画中です。後日、詳細をご案内いたします）。通常は委員のみの出席に限定されておりますが、記念の委員会となる今回は、溶融塩委員会の母体である電気化学会の現会長 田中淳様（昭和電工）、設立時から関係の深かった電気化学会関西支部の現支部長 石川正司様（関西大学）をお迎えすることにしております。また、すでに委員会は退会されておられますが、現役時に溶融塩委員会に大きく貢献いただいた諸先生方も可能な限りお呼びする予定にしております。そこでこの度、会誌「溶融塩および高温化学」では、溶融塩を軸とする科学技術や委員の人的な広がりを見渡せるよう、会員・委員の皆様から広く原稿を募らせていただくことに致しました。

ご寄稿いただくに当たり、原稿の量・話題については、特に制限は設けません。また、委員間の交流の場、自己紹介の場とお考えいただき、肩の凝らない記事として原稿を頂戴させていただければ幸いです。標準的には、お一人当たり A4 半ページ程度（写真ふくむ）を想定しておりますが、厳密に制限を設けることは致しませんので、ご自由に話題を膨らませていただいて結構です。また、イラストや写真・図などを入れたり、それらの図案等を主体とした原稿でも構いません。溶融塩誌は、すでに電子版を発行しておりますので、原稿はカラーで結構です(冊子版は原則としてモノクロ印刷となります)。なお、勝手ながら締切は5月31日とさせていただきます。

また、通常は定例委員会でご発表いただく方の論文のみを掲載しておりますが、今回、「寄稿論文」として論文原稿を提出していただくことも可能です。その場合はお早めに（出来れば5月10日までに）、御連絡下さい。追って投稿についてのお知らせをさせていただきます。

今回の依頼は、現在の本会個人会員 112 名、法人会員（連絡担当委員）18 名等に送付させていただきます。できるだけ多くの皆様の原稿をいただき、賑やかな記念誌になればと考えております。多くのお寄せいただければ幸甚です。よろしくお願い申し上げます。以上

=====

発刊までの流れ

原稿送付（5月31日まで）

↓

内容確認（6月30日まで）

↓

校正手続（7月31日まで）

↓

出版物校了（8月31日末）

↓

発行 9月18日

原稿について

提出先：溶融塩誌 記念誌編集委員会(野平・夏井)宛 mscj200@person.kobe-u.ac.jp

出来る限り電子メールに添付の上、送付していただきますようお願い申し上げます。

メールでの送付が困難な場合は、郵送にて

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所 野平俊之 宛
までお送り下さい。

1 所属：(現所属がない場合は元職等を記載していただいても結構です)

2 氏名：

3 タイトル：

以下本文

(字数に制限はありませんが、標準的には、約 800 字程度+写真を想定しております。)

内容：お立場によって、自己紹介、委員会歴（入会の経緯、活動等）、近況報告、研究・業務等のご紹介（研究室紹介でも結構です）等。

法人会員委員におかれては、御所属先の紹介でも結構です。また、複数の方が別々に原稿をご提出していただいても結構です。

写真等を添付いただく場合はできるだけ解像度の高いものをいただければ幸いです。別途郵送にて送付いただく場合は、上記 野平宛 までお送り下さい。

寄稿論文

寄稿論文をお寄せいただく場合は、できるだけ 5 月 10 日までにその旨を

mscj200@person.kobe-u.ac.jp

まで御連絡下さい。この場合の原稿締切は、別途お知らせいたします。なお、寄稿論文に関する論文原稿料は今回はございません。(投稿料は無料とさせていただきます。)